



学校図書館だより

9月号

令和5年9月
柏市立柏中学校
柏市学校図書館指導員

二学期が始まりました。朝晩は秋の気配を感じるようになりましたね。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋そして読書の秋。試験や文化祭などの行事もあり忙しい時期ですが、忙しいときほど心を落ち着ける時間を大切にしたいものです。7月には新着本も入りました。ぜひ新しい本との出会いを楽しんでください。

中秋の名月



旧暦の8月15日の月のこと。現在の暦では9～10月頃にあたり、今年の中秋の名月は9月29日、満月になります。ゆっくり夜空を見上げて、秋の気配を感じましょう。



◆学校図書館からお知らせ◆

夏休み貸出の本は速やかに返却しましょう。返却ボックスも利用できます。

返却期限
9月8日（金）



今月のおすすめ本

『月の立つ林で』

青山美智子 著 ポプラ社

長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係の変化に寂しさを抱える二輪自動車整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、仕事が順調になるにつれ家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。つまずいてばかりの日常の中、それぞれが耳にしたのはタケトリ・オキナという男性のポッドキャスト『ツキない話』だった。月に関する語りにも心を寄せながら、彼ら自身も彼らの思いも満ち欠けを繰り返す、新しくてかけがえのない毎日を紡いでいく――。

『まひるの月を追いかけて』

恩田陸 著 文藝春秋

異母兄が奈良で消息を絶った。たったの二度しか会ったことがない兄の彼女に誘われて、私は研吾を捜す旅に出る。早春の橿原神宮、藤原京跡、今井、明日香……。旅が進むにつれ、次々と明らかになる事実。それは真実なのか嘘なのか。旅と物語の行き着く先は――。恩田ワールド全開のミステリーロードノベル。



月が出てくる物語

『笑う月』

阿部公房 著 新潮社

笑う月が追いかけてくる。直径1メートル半ほどの、オレンジ色の満月が、ただふわふわと追いかけてくる。夢のなかで周期的に訪れるこの笑う月は、ほくにとつて恐怖の極限のイメージなのだ――。交錯するユーモアとイロニー、鋭い洞察。夢という〈意識下でつづっている創作ノート〉は、安部文学生成の秘密を明かしてくれる。表題作ほか著者が生け捕りにした夢のスナップショット全17編。

『月の影 影の海』 上下 十二国記

小野不由美 著 講談社

謎の男、ケイキとともに海に映る月の光をくぐりぬけ、高校生の陽子がたどりついたのは地図にない国――巧国。おだやかな風景とは裏腹に闇から躍り出た異形の獣たちとの苛烈な戦いに突きおとされる。なぜ、孤独な旅を続ける運命（さだめ）となったのか、天の意とは何か。



※出版社のホームページより引用しています

学校図書館で新聞を読みましょう！

柏中図書館には「朝日新聞」と「朝日中高生新聞」が配置されています。

朝日中高生新聞は週に1回発行されます。時事問題をわかりやすくコンパクトにまとめた記事、受験対策アドバイス、職業を紹介するコーナー、英検の練習問題、200字作文の練習問題、おすすめ本、トレンド紹介などたくさんの情報が載っています。まだ読んでしたことのない人はぜひ一度手に取ってみてください。

